

生徒会活動にはリーダーシップにフォロワーシップが大切！

(前期生徒総会を開催しました。)

5月1日(金)

「ピンチをチャンスに変えられるのはメンタルの強い人間」勝負の世界ではよく言われています。その言葉が話されていたのが園田学園女子大学教授の荒木香織さんです。荒木さんがジョーンズHCに請われてメンタルコーチに就任したのは2012年で、日本代表選手には「世界と互角に戦うなんて、どうせ無理」というネガティブな思考が色濃かったようです。荒木さんがまず行ったのが、リーダー格の選手を6人から8人ほど選び、そのメンバーのマインドセットを変えること、すなわち「リーダーズグループ」という方法でした。荒木さんの著書『リーダーシップを鍛える ラグビー日本代表「躍進」の原動力』（講談社）でも紹介されていますが、チームに変革をもたらすことができるよう、ほかの選手たちに働きかけられるリーダーシップを植え付けていきました。荒木さんは、「リーダーシップは素質ではなく、スキルなんです」と話されています。例えば、ラグビー日本代表の選手らが磨いた変革型リーダーシップには、心がけていけば磨ける「4つの要素」があります。



- ① リーダーが倫理、道徳にのっとった言動を遂行することで生まれる「理想的な影響力」
- ② フォロワーに対し、任務の大義を明確にして、有能感を引き出し、内発的動機付けを目指す「モチベーションの鼓舞」
- ③ 自身や組織の「当たり前」を変えることで変革をもたらす「思考力への刺激」
- ④ 各々に興味を示し、能力やニーズを理解しながらコミュニケーションを図る「個人への配慮」参考にして欲しいと思います。（引用：荒木香織「リーダーシップを鍛える ラグビー日本代表「躍進」の原動力（講談社）」より）

本日生徒総会を実施しました。生徒総会は生徒会や各委員会さらには各クラスの1年間の活動方針や目標を決める大切な会で、生徒たちが自分たちで自分たちの学校を創っていく自治活動の柱となるものです。

2026年度丹波市立山南中学校生徒会活動方針

生徒会スローガン **破** 「チャレンジ」

～常識を破って挑戦する～

スローガンに込めた思い

学校が新設され4年経った今、これまでとは一味違う山南中学校を全校生でつくっていかうという思いを込めて「破(チャレンジ) ～常識を破って挑戦する～」にしました。この「破」という言葉には、学校の理念にとらわれず、行事や日々の雰囲気、生徒一人ひとりの日常生活などあらゆる面において常識を破り、挑戦していかうという強い思いが込められています。そしてこの「破る」という字はチャレンジと読みます。生徒一人ひとりにとって居心地の良い学校になるよう、私たち生徒会と全校生の皆さんでチャレンジしていきたいと思いいこのスローガンにしました。先輩方の築いた大切な土台をしっかりと受け継ぎながら、「破(チャレンジ) ～常識を破って挑戦する～」というスローガンのもと、全校生徒が力を合わせ、居心地の良い山南中学校をつくっていきましょう。

【重点目標】

挑戦

生徒会本部では、「思いやり」「協力」「挑戦」を大切にしたい学校づくりを行いたいと考えました。これらを生徒一人ひとりが身につけることで、学校全体がより過ごしやすい環境になると考えています。そのために、私たち生徒会本部は、思いやりと協力を大切にしながら、積極的に挑戦し、一人ひとりが成長できる環境づくりに努めていきます。規律と協力、そして主体的に行動することを大切にしていきます。これらの実践を通して、全校生徒が関わり合い、共に成長できる、そんな魅力あふれる学校をつくっていきます。



居心地を良くする

互いを尊重し合い、安心して学校生活を送ることができる居心地の良い学校を目指すことで、協調性を高め、より深い絆を育んでいきたいと考えています。そのために、充実した縦割り班活動の実施など、他学年との交流機会を増やします。また、挨拶や声掛けを大切にし、仲間を思いやる行動を増やしていきます。このような取り組みを通して、学校全体でお互いの得意なこと、苦手なことを補い合い、協力・団結力のある学校をつくっていきます。



挑戦 × 居心地 = 成長

挑戦する姿勢と、安心して過ごせる環境を両立させることで、一人ひとりの成長につながる学校を目指します。そのために、行事の活性化はもちろん、日常の学校生活においても様々な活動を充実させることで、日々の学びの中に喜びと新しい発見を生み出したいと考えています。行事以外の日常生活の中に、生徒会で話し合い、皆さんがいつも通りの毎日に小さな挑戦を持てるような企画を立てていきたいと考えています。これらを通して、生徒全員が、「明日も学校へ行くのが楽しみだ」と思える学校を目指します。

【今年度の主な取組】

① 小さな挑戦を大切にする学校

- ・思いやり⇒相手のことを考えて、行動
- ・協力⇒お互い支え合いながら、同じ目標に向かう
- ・挑戦⇒失敗を恐れずに、自分を信じて行動

② 居心地が良い学校

- ・お互いを尊重し合う⇒挨拶や声掛けを大切に、仲間を思いやる
- ・他学年との交流を深める⇒充実した縦割り班活動の実施

③ 一人ひとりの成長を大切にする学校

- ・生徒全員が安心できる環境づくり⇒いじめゼロ運動
- ・行きたいと思える学校⇒日常活動の企画
- ・挑戦する姿勢と安心して過ごせる環境作りの両輪⇒努力とフィードバックを 続けて、自分を高めていく

【 生徒会行事・活動計画 】

2026年

- 4月 入学式、新入生歓迎会
- 5月 前期生徒総会
- 6月 市総体壮行会
- 7月 体育祭に向けた活動、校外生徒会
- 9月 体育祭に向けた活動、体育祭
- 10月 文化祭に向けた取り組み、文化祭
- 11月 いじめゼロ運動
- 12月 校外生徒会、生徒会役員選挙、専門委員会選挙

2027年

- 1月 後期生徒総会 入学説明会



2月 3年生を送る会に向けた取り組み

3月 3年生を送る会、卒業式

★毎月、専門委員会と生徒集会を実施する。